

バイパス周辺には、工業団地や流通拠点が開発されており、産業の振興に寄与
(交差点の立体化により、ICまでの利便性が向上)

・バイパス周辺には、工業団地や流通拠点が開発されており、バイパスが産業の振興に寄与している。

・北関東自動車道が平成23年度に全線開通することから、更なる交通の需要が見込まれる。

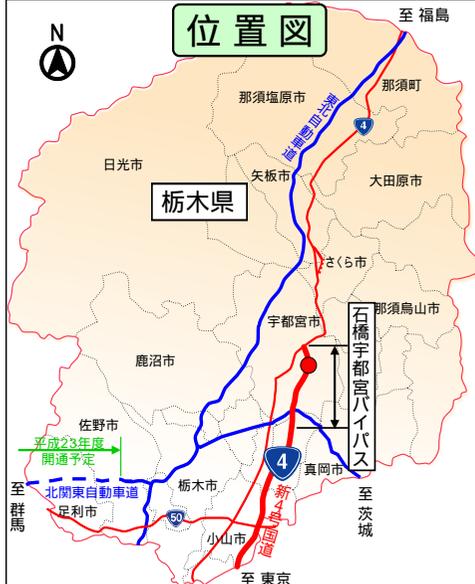
バイパス周辺の工業団地

団地名	総面積(ha)	分譲開始
芳賀高根沢工業団地	226.4ha	S52
宇都宮テクノポリスセンター	177.2ha	H17
平出工業団地	304.1ha	S37
芳賀工業団地	248.4ha	S63
宇都宮清原工業団地	387.6ha	S49
瑞穂野工業団地	30.2ha	S52
インターパーク宇都宮南	137.5ha	H13
日産自動車	292.2ha	S43
石橋第一工業団地	8.7ha	S37
石橋第二工業団地	11.7ha	S40



【凡例】

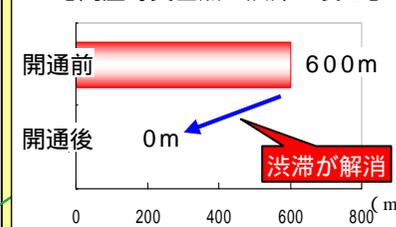
- 工業団地等
- 国道
- 主要地方道・県道



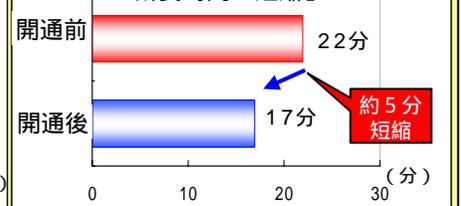
【交差点の立体化により、ICまでの利便性が向上】



【問屋町交差点 渋滞の長さ】



【平出工業団地～宇都宮上三川IC間の所要時間の短縮】



・渋滞の激しい交差点を立体化することにより、整備前：平成21年12月2日、整備後：平成22年2月16日、渋滞が解消し、北関東自動車道までの利便性が向上。